

都市再生整備計画 一ヶ岡地区 に関する意見に対する市の考え方

○意見募集期間：令和8年1月21日～令和8年2月11日

○結果：提出者6名 提出された意見8件

No.	意見の分類	意見の概要	市の考え方
1	計画全体	一ヶ岡地区は、確かに高齢化が進み空屋も多くなっています。かつて、昭和50年代は人口も多く、子ども達も多かったのですが、その子ども達が大人になり、離れていってしまい元気のない地区になってきたのではないかと思うので、若い世代が子育てしやすく、住みたいと思える街作りは大事な事だと思います。インターチェンジもありアクセスも良い環境なので、具体的な意見はわかりませんが応援したいと思います。	本市では、人口減少・少子高齢化の問題に対し様々な施策に取り組んでいる中、令和7年3月31日に、将来世代にわたる安全や暮らしやすさが確保される生活環境を整え、行政サービスを提供できる「持続可能なまちづくり」を目指すことを目的に、「延岡市立地適正化計画」を策定しました。 「延岡市立地適正化計画」において、一ヶ岡地区は本市の南部地域の中核的な役割を担う「地域生活拠点」として位置づけられており、定住の確保に向けた地域の生活利便性を維持し、各種生活サービスや地域の交流を支える機能の集積に加え、子ども・子育て世代等が交流できる機能の強化を図ることとしています。 そこで、この度実現に向けた施策として「都市再生整備計画 一ヶ岡地区」(以下、本計画)を作成し、子育て環境の充実や拠点性の強化による、魅力と活気あふれる未来につながるまちのリニューアルを進めていきたいと思っています。
2	計画全体	一ヶ岡地区は、東九州道の入り口でもあり、道路も広く公園等も多く、子供から年配の方も住み良い町であると思います。都市再生整備計画進めて行ってもらいたいです。	
3	計画全体	子育て世帯と良く聞きますが、私は子育ても大事ですが、お年寄りの方が大変なのでは？と思います。子育て世帯は親が頑張れば何とかかかりますが、お年寄りは働く事も難しく、お金を借りるのも難しい… 少子化の為に手当を手厚くしてはいますが、それはちゃんと子供に使われているのでしょうか？ギャンブル等に使われていることはないですか？現金支給に疑問だけです。	本計画区域は、地域住民のコミュニティの場である一ヶ岡小学校や一ヶ岡コミュニティセンター、バスの交通結節点となっているAコープ一ヶ岡店等が立地しており、こどもから高齢者まで様々な人が行き交うエリアとなっています。 そこで、本計画では、このエリアにおいて南部地域子育て支援拠点施設の整備と共に、市道の歩行空間高質化(段差解消)や公園施設のバリアフリー化により誰もが安心・安全に楽しく回遊できる拠点環境整備や、南部地域子育て支援拠点施設や一ヶ岡コミュニティセンターなどの地域資源を活用した地区全体を巻き込んだ賑わい・交流イベントの検討を行うことで、魅力的な都市空間の形成と多世代交流の促進を図り、地域の活性化と、様々な賑わいや交流が生まれていくことを目指しています。
4	公園整備	子供から高齢者まで幅広く使用出来る運動公園があったら良いと思います。福岡の大濠公園とまではいいませんが、安心してウォーキングやランニング、子育て世代が憩える場所は必要！休憩の出来るカフェを併設したりしてほしい。子供も若者も高齢者も使用できます。 ジムに行けば会費も必要です車に頼りっぱなしの日々なので寝たきりにならない為にも足腰は鍛えてほしい。健康マイレージのやりがいにもなる！	本計画において、一ヶ岡中央公園では、子どもから高齢者まで誰もが楽しく安心して利用できる、ユニバーサルデザインに配慮した改修を実施する予定です。 具体的には、園路や広場の再整備による回遊性・滞在性の向上、トイレのバリアフリー化による快適性の向上を図るとともに、心身の健康維持や福祉の向上に寄与する、周辺環境と一体となった魅力的で利便性の高い空間づくりを目指します。 いただいたご意見につきましては、今後の設計の参考にさせていただきます。

都市再生整備計画 一ヶ岡地区 に関する意見に対する市の考え方

○意見募集期間：令和8年1月21日～令和8年2月11日

○結果：提出者6名 提出された意見8件

No.	意見の分類	意見の概要	市の考え方
5	子育て支援施設整備	<p>私自身の希望にもなりますが、病児保育や高学年まで受け入れてくれる児童クラブ・天候が悪い時に子供たちが遊べる場所を増やして下さるととてもありがたいです。</p> <p>理想としては津波避難施設の機能のある高層ビルに、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・病児・病後児保育（ネットで申し込み可にする） ・児童館（大きな図書館併設だとお嬉しいです） ・児童クラブ（どこの校区でも使用可 小6まで可 ネットで受け付け 利用日のみ料金支払い） ・子育てに関する相談や、それ以外の悩みごとにも相談ができる部屋 ・プログラミング教室や英会話教室、パン作り教室、マージャン教室、塾、体操教室、ヨガ教室など、子供からご高齢の方まで利用可能な教室 ・トレーニングジム ・カフェや食堂、パン屋さん、お弁当屋さん ・ゆっくり誰でも過ごせる図書館 ・産直市場 <p>外には</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子供も高齢者も障害のある方も体を動かせる公園 ・休日にフリーマーケット・グルメイベント・ライブなどのイベントが行えるような広場 ・大きな駐車場 ・体育館 ・プール（屋内だと日焼けや天候を気にしなくていいので、屋内だとお良し） ・バス停 <p>のような施設が出来れば嬉しく思います。</p>	<p>南部地域子育て支援拠点施設は、令和5年度に「基本構想」を策定し、令和6年度に基本計画を策定いたしました。令和7年度は基本計画に基づく基本設計を進めているところです。</p> <p>今回、整備予定地の「市営住宅D団地跡地」は、南街区と北街区から構成され、特に、南街区は、子育て世帯優先市営住宅と子育て支援施設を併設する「子育てエリア」を創設して子育てに優しいまちづくりを目指しています。</p> <p>施設には、イベント時の食の提供なども可能とする飲食スペースの確保や図書館・学習室・広場・体育館のような多目的ホール・一時預かり室・キッズルーム・バス停など、アンケートやワークショップでも多く聴かれた機能を設置予定としています。</p> <p>今後、基本設計において、分かりにくい空間イメージや使用方法などを、CGやスケッチ、模型などを作成し、市民の皆様の理解を深めていきたいと考えています。</p> <p>いただいたご意見につきましては、今後の検討の参考にさせていただきます。</p>
6	都市機能	<p>子育て支援拠点の近くに商業施設があると良い。</p>	<p>本計画は、本市の「立地適正化計画」において目指す、持続可能なまちづくりを推進するための施策となります。</p> <p>本計画における拠点整備を行い、まちの賑わい・魅力を向上させることで、民間の商業施設立地にもつながっていくものと考えています。</p> <p>また、「立地適正化計画」に基づく居住や都市機能（医療、福祉、商業など）の誘導施策と「地域公共交通計画」に基づく交通施策を連携して行っていくことが重要であることから、本計画と併せて、市内南部地域において運行している乗合タクシーの路線を軸としながら、路線の延伸や新設、路線バスとの効率的な接続について検討していきたいと思っております。</p>
7	公共交通	<p>南一ヶ岡、土々呂からAコープまで歩くのが大変で近所の人々が代行したりしている。価格も高い。バスのハブ拠点を期待。現在は個別路線それぞれ便数が少なく買い物や文化施設に行きにくい。</p>	<p>本計画は、本市の「立地適正化計画」において目指す、持続可能なまちづくりを推進するための施策となります。</p> <p>本計画における拠点整備を行い、まちの賑わい・魅力を向上させることで、民間の商業施設立地にもつながっていくものと考えています。</p> <p>また、「立地適正化計画」に基づく居住や都市機能（医療、福祉、商業など）の誘導施策と「地域公共交通計画」に基づく交通施策を連携して行っていくことが重要であることから、本計画と併せて、市内南部地域において運行している乗合タクシーの路線を軸としながら、路線の延伸や新設、路線バスとの効率的な接続について検討していきたいと思っております。</p>

都市再生整備計画 一ヶ岡地区 に関する意見に対する市の考え方

○意見募集期間：令和8年1月21日～令和8年2月11日

○結果：提出者6名 提出された意見8件

No.	意見の分類	意見の概要	市の考え方
8	その他	<p>私の住むところは土地が低いので最近では毎年水害があります。昨年は2回。前は台風の時だったのが、異常気象のせいもあり、いつ浸かるかわからず強い雨が降る時は心配でなりません。</p> <p>水害がある度に市役所へ連絡すれば～課へとたらい回し。親身に話を聞いていただける方も勿論いますが、心無い言葉を言われたこともあります。自分の家が被害にあった時に同じ事が言えますか？予算等もあり簡単ではないことも理解しています。公園の整備も必要ですが、困っている所への対応が先なのではないでしょうか？被害に遭っている件数が少ないから放置ですか？</p> <p>うちみたいな所が他にも沢山あると思います。難しいとは思いますが、そんな声にも耳を傾けて欲しいです。</p>	<p>浸水被害軽減対策については、市内全域で多数の要望があり、雨水ポンプ場整備や、雨水幹線整備など緊急性、経済性等を考慮しながら対策に取り組んでおります。</p> <p>また、近年大雨が多発し、それに伴う浸水被害も増加傾向にあるため、市民の皆様から日頃から内水氾濫に対する心構えや準備を行っていただくため、想定される浸水深や避難所の位置等を分かりやすく示した内水ハザードマップを作成し、今年度に公表したところでございます。</p> <p>今後も浸水被害軽減のため下水道事業に努めてまいりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。</p>